

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ナノデス アクスライン リミテッド</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.490</b>	△RG <b>0.054</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：アクスライン・リミテッド**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：アクスウイング3**

フレアーの幅  インチ

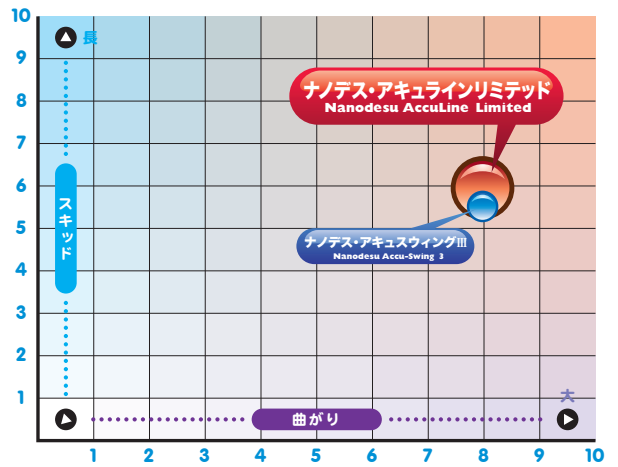
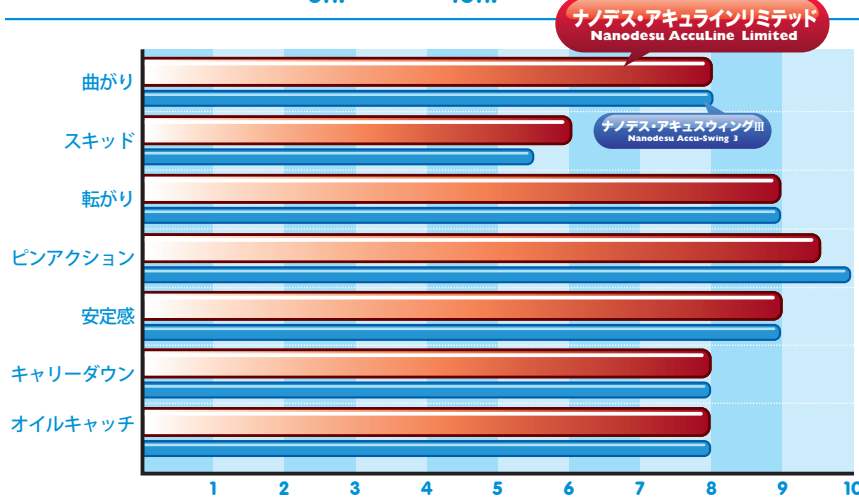
PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

アクスラインシリーズからアクスウイングシリーズに移行しても殆ど採用されることがなかったマルチカラー。私たちABS開発チームはこのLIMITEDにアクスラインのAVEX、アクスウイングのNANOXY双方の長所を得られるパフォーマンスを3色のマルチカラーに見出しました。パール素材=「走る」というイメージがありますが、AVEXにはもとより「走るパール」と「キャッチのパール」2系統が存在します。その系統3種パールをブレンドすることでスキッド感はAVEXの走りを含め、キャッチはNANOXYレベルという今までにない性能を生み出すことができました。このアクスラインLIMITEDにはアクスウイングIIIでも見られた日本独自の巧みな技術が取り入れられており、国外でよくあるマルチカラーは、ウレタン素材を使用しないAVEXカバーでは本来不可能とされていた。特殊な素材ゆえの均一に色が混ざらないことや、異なる3種類の添加物との結合性は不安定で、統一させられるパフォーマンスを見出すのは難しかったのです。今回の日本エポナイト社の巧みな技術は、我々の可能性と期待に応えたものであり、日本の信条やスピリットであると感じています。

その巧みな技術を生かすために開発チームが選んだコアはアクスライン8とも使用したBIG Shuttleコア。人気を博したスペックでもありますが、転がり感やバックエンドモーションなどAVEX-LIMITEDカバーとの総合的評価は高く、テストからベストマッチの組み合わせをチョイスしました。もちろんナノデスの生命線であるピンアクションは最新の衝撃吸収システムを採用し、アクスライン当時のものを超越する仕上がりも見逃せません。

今回はLIMITED版として数量500個限定で発売させていただきます。今や情報化社会で、リリースの案内がでた直後に完売の可能性もあります。オーダーはお早めにショップまで!

### 特記事項

**アクスライン、アクスウイング史上初のマルチカラーで3色のパール素材から構成されています。数量限定で発売致します。是非こだわりの性能をその手でお試しください。**